

## (8月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
なし類		10,269	90	9,317	273	110	309	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州産の生育は回復してきている。出荷は7月下旬から始まるが出揃うのは8月5日頃から。</li> <li>関東産は春先の降雪、霰害のため着果不足、傷果、生育遅れのため入荷は前年を下回る見込み。</li> <li>全般に品薄傾向のため、価格は強めの予想。</li> </ul>
すいか類		10,813	96	11,608	120	116	143	5,472	50.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野産、山形産とも7月中旬にスタートした。生育進度は例年より遅れ気味。現在、好天続きで生育は回復してきている。</li> <li>前年は安値低迷であったが、大きな天候の崩れがなければ価格は強めの展開。</li> </ul>
もも		5,936	108	6,451	391	103	391	586	9.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島産の着果量は平年並にあり入荷は前年並の予想。7月下旬から増量し、ピークは8月中旬。</li> <li>山梨産の出荷ペースは平年並。旧盆後に急減し、8月中旬でほぼ終了する見込み。</li> <li>全体的には、食味レベルは良好と期待されることから価格は強め。</li> </ul>
ぶどう(デラウエア)		1,151	95	1,374	524	97	472	932	81.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形産はハウスから雨よけ栽培に作型は移行し、食味も充実してくる。</li> <li>山梨産は8月上旬にピークを迎える。生産規模は減少しており入荷量は前年より減少の見込み。</li> <li>全体的には、作付減少の流れの中で、入荷量は前年並～やや減少する見込み。</li> </ul>
みかん類		1,156	104	1,375	836	94	770	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀、大分、愛知産中心の入荷となる。</li> <li>8月は中元需要、旧盆需要のため、ピークシーズンにあたる。8月前半は積極的な出荷体制となる。</li> <li>本年産は入荷順調。食味も安定している。価格は不足感はなく前年より軟調と見込まれる。</li> </ul>